

提案主題 ベクトルのそろった組織的な取組を徹底していくための教頭の役割
 サブテーマ ～ミドルリーダーとの連携を通して～
 協議の柱 ベクトルをそろえて組織的な取組を進めるための教頭の役割はどうあればよいか。

提言者 別府市立大平山小学校 寺田 康弘

1 質 疑

(由布) 情報共有の場としての夕会の活用について～どの職場でも、例えば職員会議の議題だけでも多く、時間設定も難しい。夕会の位置づけは、どのようなものなのか？

(回答) 事務連絡を夕会に行う。見てわかるものはホワイトボードを活用するようにした。議題を精選し、急ぐ案件は書く若しくは夕会で提案するように周知した。また、勤務時間を越えないような時間設定をした。内容は指定し絞って発表してもらい、良いことは子どもに返し、子どもも職員もモチベーションが上がるようにした。

(由布) 職員の意識改善のため、振り返りの時間を大切にしている取組を感じた。

2 協 議

討議の柱 ○教頭の役割として、ミドルリーダーとどのように連携していくか。

○職員の意識をどう高めていくため、教頭としてどのように働きかけていくか。

(グループA) 教務を中心とした組織をしっかりとつくる。学校の中心となる教務の決め方の流れをつくるのが大切。運営委員会が定例化することで共通理解が生まれてくる。年齢が上の人の意識改革が難しい。教務と教頭の指導が重要になる。

(グループE) 構成メンバーや開催時間等、運営委員会の持ち方について出し合った。年間計画をきちんと立てる。行き当たりばったりにならないよう教務主任に任せる。教務・学年主任の力量を高めるよう育てていかなければならない。

(グループC) 運営委員会の議題を早めに提案することで、考える時間が持てる。各職員が孤立しないよう情報共有ができるようにする。教務を中心にミドルリーダーを育成することが重要になる。

3 指導助言

○提言について

落ち着いた学校を取り戻した取組に敬意を表す。心から支えようと親身になった教頭への信頼感が増し、風通しのよい職場になった。運営会議等で先手を打って事前準備の指導支援を綿密に行った。学校公開など地域の力を借りて率先垂範を行った。教務主任は学校の要である。しっかり認めて支えることで、やりがいや意気を感じるようにしていくことが大切。

○組織運営に関する教頭の役割について

いつの間にか分掌をたくさん持ち、校務を整理し運営していくことが疎かにならないようにしなければならない。職員が責任もって取り組み学校運営に係る参画意識を持つような体制をつくる。教頭の持つ分掌を各主任等に任せていくことも。多忙感から解放されることでやりがいにつながる。やりがいのある教頭職で力を発揮することを望む。